

平成20年10月23日

各 位

東京都港区六本木一丁目6番1号  
 ゴメス・コンサルティング株式会社  
 代表取締役 執行役員CEO 西村 徹  
 (コード番号：3813)  
 問合せ先：執行役員CFO 管理部長 五関 智紀  
 電話番号：03-6229-0581  
 (URL <http://www.gomez.co.jp/>)

平成21年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（第2四半期末）に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年4月23日の決算発表時に公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正するとともに、本日開催の取締役会において、平成20年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行わないことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異（平成20年4月1日～平成20年9月30日）  
 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	340	75	80	50	3,409円01銭
今回実績(B)	228	△7	△3	△2	△154円26銭
増減額(B-A)	△112	△82	△83	△52	
増減率(%)	△32.9	—	—	—	

(2) 通期業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	710	190	200	120	8,181円63銭
今回修正予想(B)	470	12	20	12	818円16銭
増減額(B-A)	△240	△178	△180	△108	
増減率(%)	△33.8	△93.7	△90.0	△90.0	

(3) 業績予想修正の理由

最近の国内経済は、原材料価格の高騰、米国の信用力の低い個人向け住宅融資（サブプライムローン）問題の実体経済への波及などにより先行き不透明な状況となっており、企業における支出抑制傾向は強まっています。

このような中、銀行、証券会社、保険会社等の金融向け業務を中心としてきた当社は、金融分野での需要の落ち込みを想定し、前事業年度より非金融分野の顧客獲得を強化して参りました。また、モバイルSEOサービスをはじめとした新たなサービス提案により、需要の開拓に努めました。

しかしながら、金融向け業務が落ち込む一方で、非金融分野における顧客獲得の進捗は当初の想定を下回って推移したことから、現時点における顧客獲得状況、顧客における予算動向、経済環境等を踏まえ、業績予想を見直すことといたしました。

2. 剰余金の配当（第2四半期末）

(1) 配当の内容

	決定額	前期実績 (平成20年3月期中間)
基準日	平成20年9月30日	平成19年6月30日(注)
1株当たり配当金	0円	1,200円
配当金の総額	0円	17百万円
効力発生日	—	平成19年8月28日

(注) 前事業年度は決算期変更の経過期間であったため、6月30日となっております。

(2) 理由

当事業年度の業績が当初計画を下回る見込みとなったこと等を踏まえ、平成20年9月30日を基準日とする剰余金の配当を見送ることといたしました。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
配当予想		未定	未定
当期実績	0円		
前期実績(平成20年3月期)	1,200円	1,200円	2,400円

以上